

■ 主要事業の堅調な成長により売上高、営業利益は増収、増益

■ 営業利益

将来成長に向けた施設・人財への先行投資が発生したものの、営業利益率は11.9%の水準を維持

■ 経常利益

為替差益を計上しているものの前期反動があり、また持分法による投資損失が発生し減益

(単位:百万円未満切り捨て)

	17/3月期 1Q(実績)	18/3月期 1Q(実績)	前年 同期比(%)	18/3月期 上期予想	上期予想に 対する 進捗率(%)	18/3月期 通期予想	通期予想に 対する 進捗率(%)
売上高	6,967	7,866	+ 12.9 %	15,800	49.8 %	33,000	23.8 %
営業利益 (売上対比)	899 (12.9%)	933 (11.9%)	+ 3.8 %	1,900 (12.0%)	49.1 %	4,300 (13.0%)	21.7 %
経常利益 (売上対比)	1,198 (17.2%)	1,028 (13.1%)	- 14.2 %	1,900 (12.0%)	54.1 %	4,400 (13.3%)	23.4 %
親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (売上対比)	839 (12.1%)	641 (8.2%)	- 23.6 %	1,250 (7.9%)	51.3 %	2,900 (8.8%)	22.1 %
対米ドル為替 レート(円)	102.91	112.00	-	111.27		111.27	-

連結損益計算書(要約)

為替差益

前期 279百万円 → 今期 80百万円 経常利益



...前期はBREXIT決定による為替の急激な変動が発生

非支配株主に帰属する四半期純利益

前期 10百万円 → 今期 54百万円

親会社株主に
帰属する
四半期純利益



...グループ会社であるイントラストの影響

	17/3月期 1Q	18/3月期 1Q	前年同期比	
	金額	金額	増減	増減率(%)
売上高	6,967	7,866	+ 898	+ 12.9%
売上原価 (売上対比)	5,272 (75.7%)	6,094 (77.5%)	+ 822	+ 15.6%
売上総利益 (売上対比)	1,695 (24.3%)	1,772 (22.5%)	+ 76	+ 4.5%
販管費及び一般管理費 (売上対比)	796 (11.4%)	838 (10.7%)	+ 42	+ 5.3%
営業利益 (売上対比)	899 (12.9%)	933 (11.9%)	+ 33	+ 3.8%
経常利益 (売上対比)	1,198 (17.2%)	1,028 (13.1%)	- 170	- 14.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上対比)	839 (12.1%)	641 (8.2%)	- 198	- 23.6%

(単位:百万円未満切り捨て)

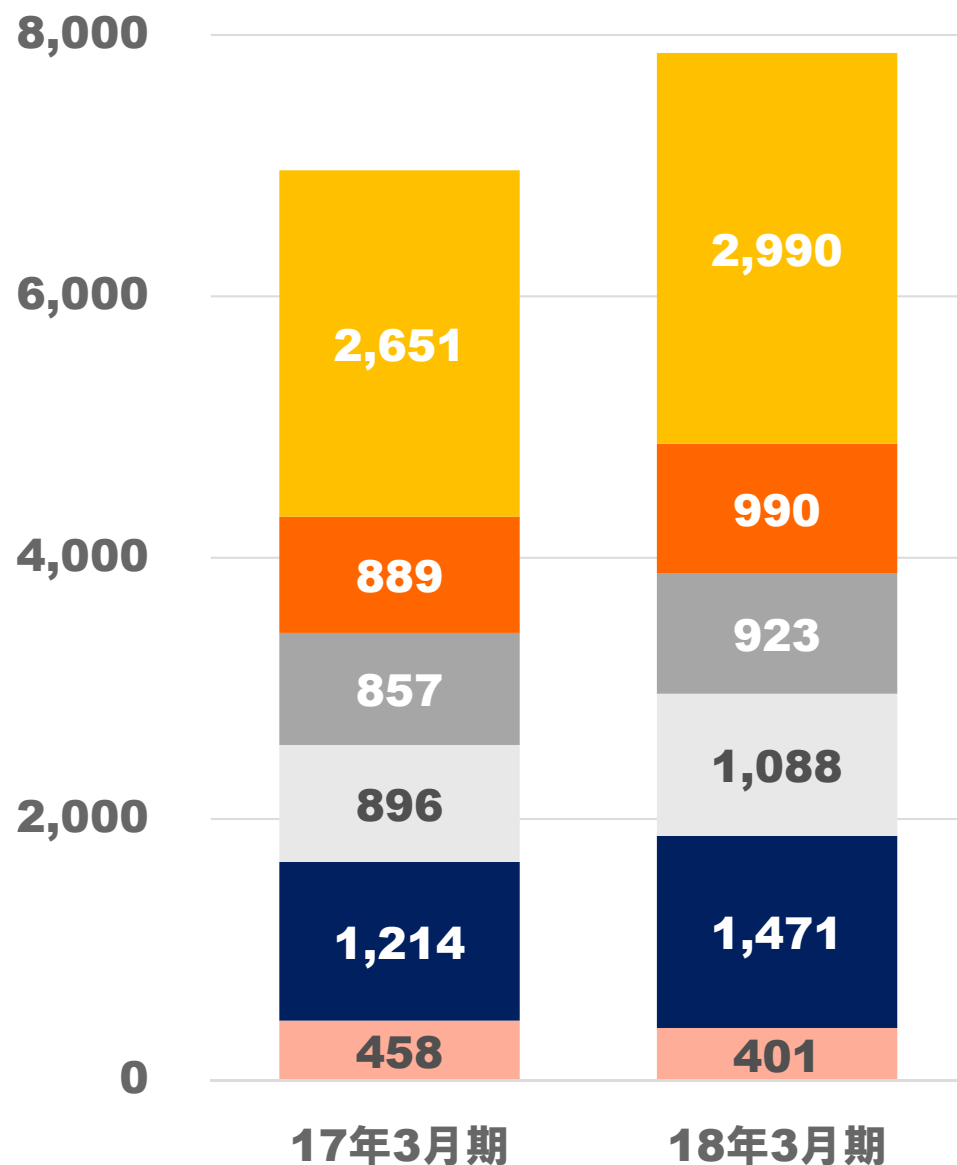
連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円未満切り捨て)

	17/3月期 期末	18/3月期 1Q	増 減	増減の主な要因
流動資産	19,694	19,887	+ 193	現金・預金 + 94 立替金 + 177 その他 - 90
固定資産	10,491	10,319	- 172	建物及び構築物(純額) -63 投資その他の資産 その他 - 82
資産合計	30,186	30,207	+ 21	
流動負債	6,519	6,328	- 190	未払法人税等 - 341 その他 + 329
固定負債	1,580	1,522	- 57	長期借入金 - 87
純資産	22,086	22,356	+ 269	利益剰余金 + 291
負債純資産合計	30,186	30,207	+ 21	

事業別売上高の状況 (対前年同期)

(単位:百万円)

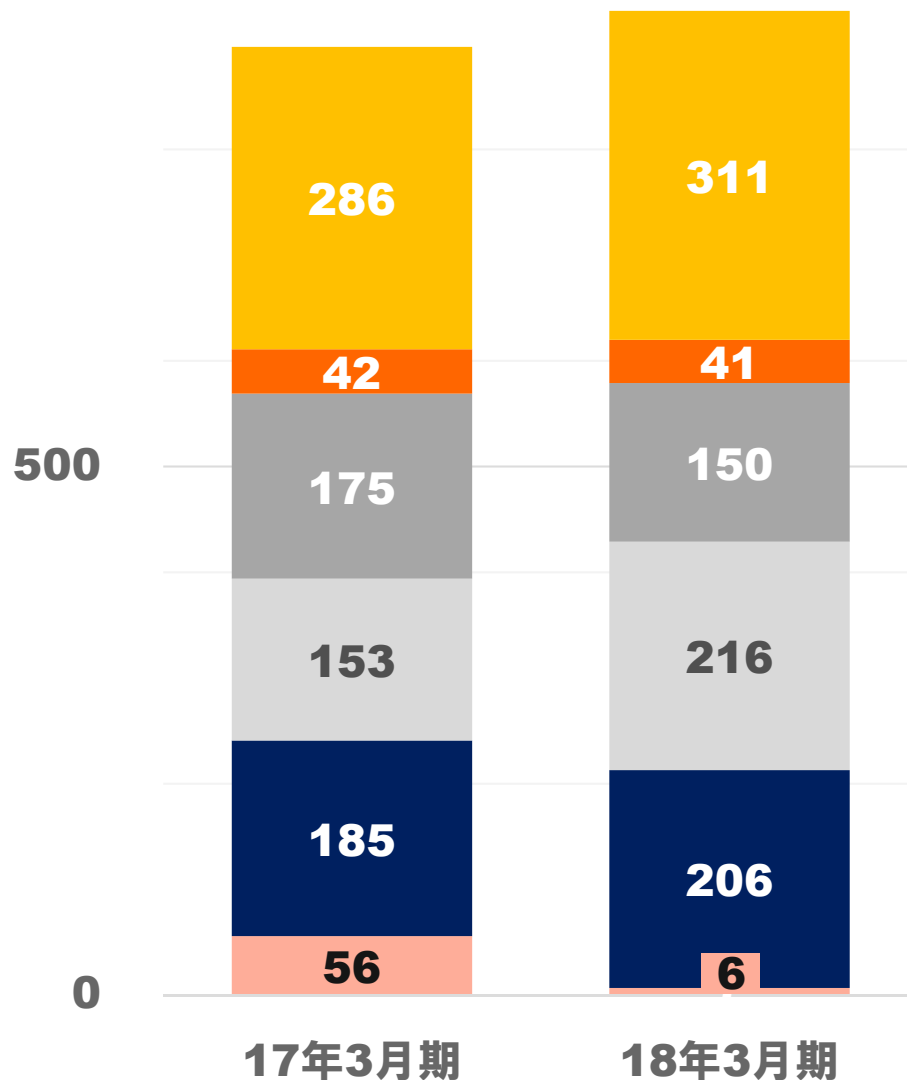


- **ロードアシスト (対前期比 + 12.8%)**
 新規受託業務の開始と既存受託業務の堅調な成長により増収。
- **プロパティアシスト (同 + 11.4%)**
 不動産向けサービス(ホームアシスト)における新規業務受託の開始及び既存受託業務の成長により、増収。
- **インシュアランスBPO (同 + 7.7%)**
 海外関連事業(クレームエージェントサービス、ヘルスケア・プログラム)が堅調に拡大したことにより、増収。
- **ワランティ (同 + 21.4%)**
 家賃保証プログラム及び自動車延長保証が堅調に推移し、増収。
- **カスタマーサポート (同 + 21.1%)**
 国内における新規受託業務の獲得や既存受託業務の成長により、増収。
- **ITソリューション、派遣・その他 (同 - 12.4%)**
 ITソリューション 前第1四半期に獲得した新規獲得案件の反動により、減収。
 派遣・その他 事業領域の拡大を行っているが、人材派遣業務が業務委託契約に切り替わった影響が残り、減収。

事業別営業利益の状況 (対前年同期)

(単位:百万円)

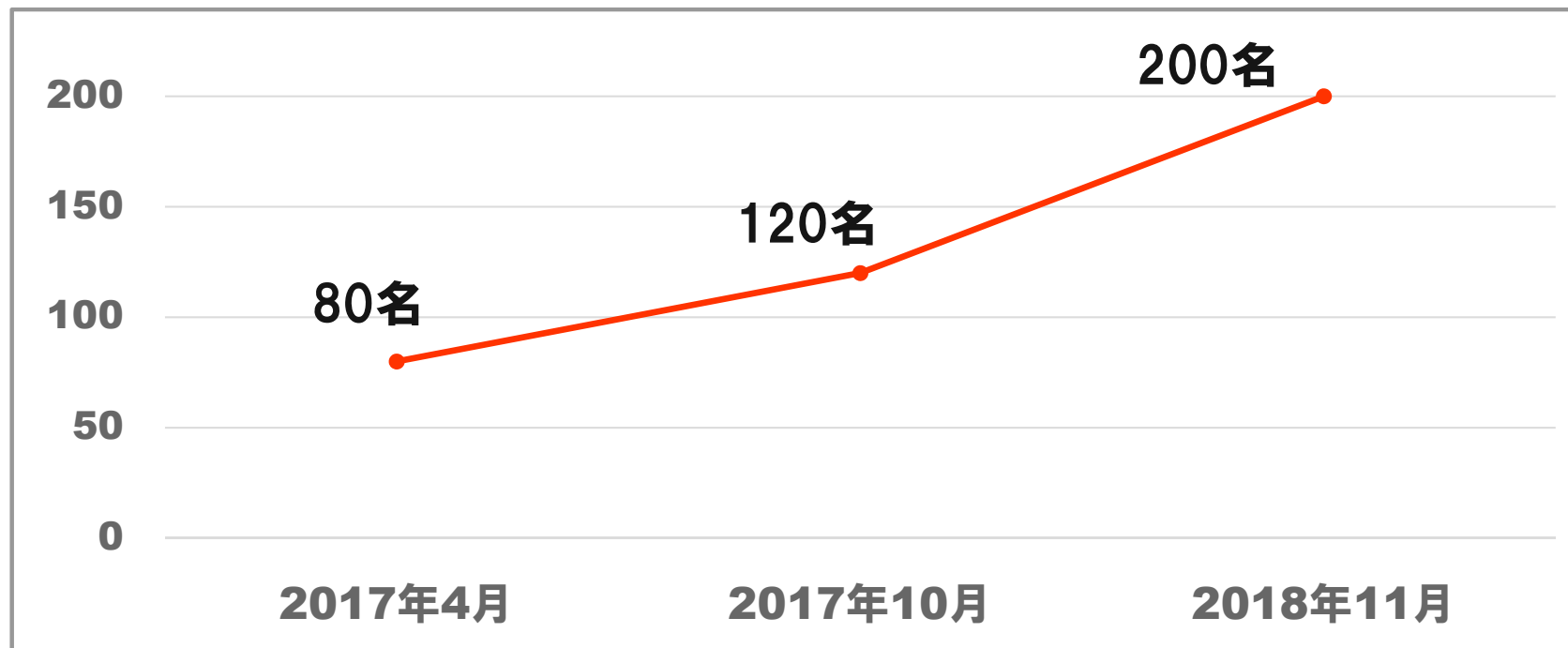
1,000



- **ロードアシスト (対前期比 + 8.9%)**
 現場対応グループ会社の機能強化に向けた先行投資を実施いたしましたが、成長によりコスト増を吸収し、増益。
- **プロパティアシスト (同 - 1.9%)**
 現場対応グループ会社の機能強化と新規受託案件稼働に向けた先行コストが発生し、減益。
- **インシュアランスBPO (同 - 14.1%)**
 海外日本語サービスのオペレーション体制の強化に伴うコストが生じたことにより、減益。
- **ワランティ (同 + 41.1%)**
 安定したオペレーションが継続しており、増益。
- **カスタマーサポート (同 + 11.5%)**
 安定したオペレーションが継続しており、増益。
- **ITソリューション、派遣・その他 (同 - 89.3%)**
 ITソリューション 前第1四半期に獲得した新規獲得案件の反動により、減益。
 派遣・その他 事業領域の拡大を行っているが、人材派遣業務が業務委託契約に切り替わった影響が残り、減益。

■ 現在、仮センターが稼働中の秋田BPO横手キャンパスにおける雇用予定人数

2018年11月の竣工時には最大200名体制でのスタートを予定

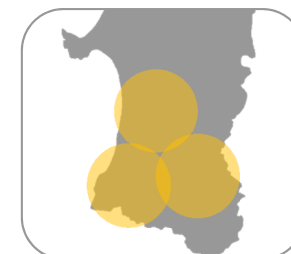


■ 横手キャンパス採用環境

通勤圏人口 約22万人
(2017年6月時点、横手市、大仙市、湯沢市人口の合計)

有効求人倍率 1.22倍
(2017年5月時点、厚労省 秋田労働局「ハローワーク別求人・求職状況」)

通勤圏イメージ



...地元では募集の少ないオフィスワークということもあり、採用進捗は堅調

1 売上高・営業利益に関しては堅調に推移

前期為替差益の反動がボトムラインに影響

2 新規大型クライアントの獲得による成長

ロードアシスト、プロパティアシスト、カスタマーサポートに関しては期末時点での更なる拡大を予定

3 先行投資の強化

現場対応(フィールド)人財の採用強化、横手仮センター稼働、大型プロジェクトに備え人財の教育・研修



**今期予算達成・次の中期経営計画への飛躍
に向けた着実な取組を積み上げる**

本資料お取扱上のご注意

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料に記載された将来の事項は、参考として記載したもので、その確実性に関して当社が将来に渡り保証するものではありません。

本資料に記載された将来の事項は、経済情勢などの事業環境の変化によって予告なく変更することがあります。ご承知おきください。

IRに関するお問い合わせ

株式会社プレステージ・インターナショナル 経営統括部 広報・IR課

TEL :03-5213-0826 FAX :03-5213-0221 MAIL :ir@prestigein.com